

さんの此の子を、此の通りにといつて教へ得るのである。育児上の實物教育が出来るのである。勿論幼児預所の直接の任務は幼児の爲である。併しその社会的存在の自然的要求からいへば、貧人の家庭を教育するといふことを是非受けたせられるのである。又、それを併せ行はなければ直接の目的をも十分に遂げ得られない。それには目幾度といふ母の會も至極く有効である。併し、それと相俟つて、幼児をつれて来る朝、つれに來る夕、その零細の時間を巧に利用することを忘れてはならぬ。親達は忙しいことであらうが、五分早くつれて來させるのである。つれて歸る時五分ゆつくりさせるのである。而して此の十分の時間に、保姆は手と口とで彼等を教育するのである。幼児を預るだけで容易の忙しさではない。その上にそんなことまでと思はるゝ方もあるかも知れぬが、それはそうでない。彼等を教へるといつても何も講義をするのではない。たゞつれて來て、たゞつれて

歸る彼等の目を一寸開けてやるのである。手を一寸働かさせてやるのである。耳を一寸傾けさせてやるのである。一日十分、一ヶ月には五時間になる。必ずしも今夜は母の會だといつて、特別な準備をしたり、母親の方の用を差繰らせたりしないでも、五時間といふ大した教育が一寸した、心づかいで出来る。幼児が幼児預り所へ來て、その清潔な中に一日居て歸つて、我家の不潔が子供心にも氣になつて母の耳へ注意する處へ、母親は母親が朝夕、清潔な預所を見て成る程と目から我點するといふ様になれば、其の家庭は乏しいなりに段々と清潔にならざるを得ないのである。之れはほんの途上の感想に過ぎぬ。大切なる幼児預所の多くの問題に就ては、他日を期して再び述べ度と思ふ。

### ○幼稚園の戶外運動器具

之れは大阪で聞いた話である。同市の某幼稚園で、

或る朝遊園のブランコが根から折れて、其の爲に二人の幼児が死んだといふことである。そして其の原因は専門家の調査によつて、白蟻の害によること明白になつたさうである。私は此の不幸なる話を傳へて、其の當局の人々に重ねて心苦しい思ひをさせるに忍びないのである。泥んや之れを責任問題として云々しようなどとするのでは毫もない。寧ろ、死んだ幼児の不幸、其親御達の不幸と共に其の幼稚園當局者の方々の不幸を御同察するものである。併し、此の不幸なる事實は吾等に重大なる教訓を興へるものなることを感じて、茲に念の爲一言せざるを得ないのである。それは、此の悲惨事を我々よそごと、思ふことはならぬことである。白蟻に浸蝕された柱は、ペンキの爲に外面からは分らなかつたさうである。又白蟻はさう何處にも居るものではなからう。併し、吾々の一寸した注意の不行届の爲に、氣はついて居ても例の手不精の爲に、運動器具の被損を其のまゝにし

て置いて、大切な幼児に怪我をさせることはないか。元來、幼稚園を參觀して、私の處には之れ之れの運動器具が備つて居るといふ御自慢を聞きとが屢々あるが、吾々の併せて伺ひ度いのは、その澤山の運動器具に、どれだけの管理が届いて居るかといふことである。それを併せ聞かない中は、早速感服することは出来ない。いくら鐵で出来て居ても、いくら念入りに出来て居ても、どんな過ちがないとはいへぬ。朝一寸調べて置くに越したことはあるまい。又それが大した勞でもあるまい。釘一本ゆるんで居ても、大事になる。前夜の雨にどこかいたんで居るかも知れない。前夜の風に、どこかはづれて居るかも知れない。元氣のいゝ子供が、いきなり取附いて運動する前に、豫め一寸調べて置くことは是非必要のことである。こんなことはいふまでもない實行せられて居ることと思ふのであるが、大切な子供の爲の老婆心から申すのである。